



台風第19号に係る 第2回鳥取県災害警戒連絡会議

【日時】平成26年10月13日（月）10：30～

【場所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）等

【参加者】*総合事務所等TV会議での参加者を含む

知事・副知事・統轄監・危機管理局・未来づくり推進局・総務部・地域振興部・文化観光スポーツ局・福祉保健部・生活環境部・商工労働部・農林水産部・県土整備部・企業局・病院局・教育委員会・警察本部・東部振興監・中部総合事務所・西部総合事務所・日野振興センター・鳥取地方気象台

目的

◆台風第19号の鳥取県への**本日**接近に伴い、台風に関する情報の共有、市町村・県民への**最大限**の注意喚起及び警戒・即応体制の確保を図る。

次第

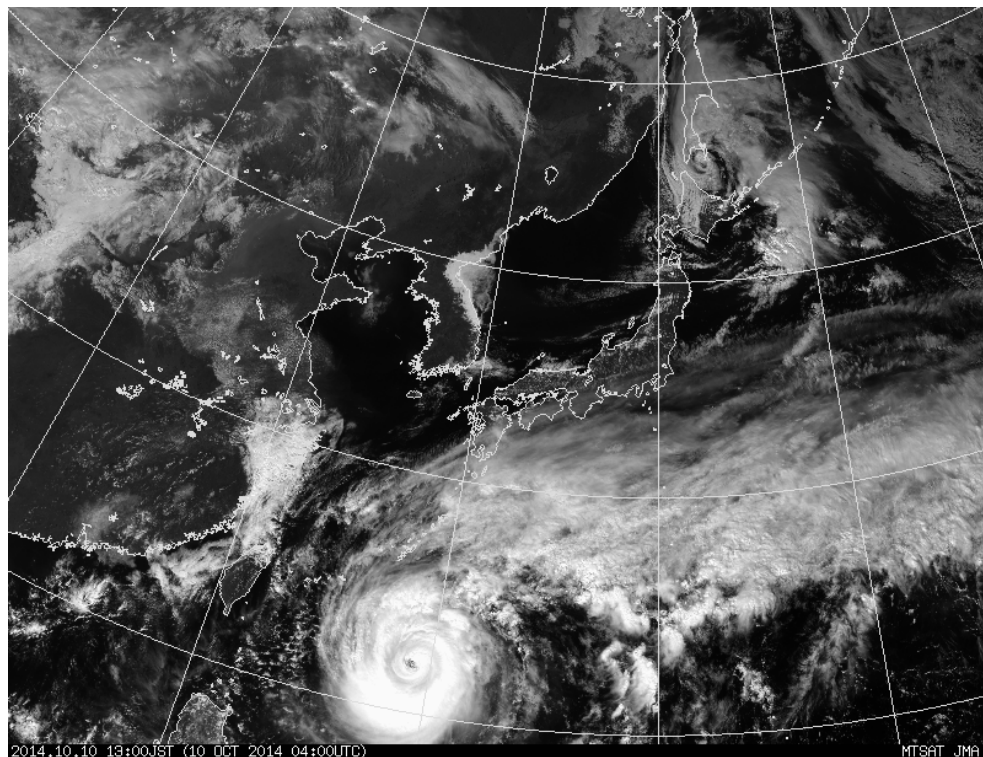
◆知事挨拶

- 1 台風の現況及び今後の予測等
- 2 市町村・県民への注意喚起
 - (1)市町村への注意喚起
 - (2)県民への注意喚起等
- 3 警戒・即応体制の確保
 - (1)県の体制
 - (2)各部局等の対応

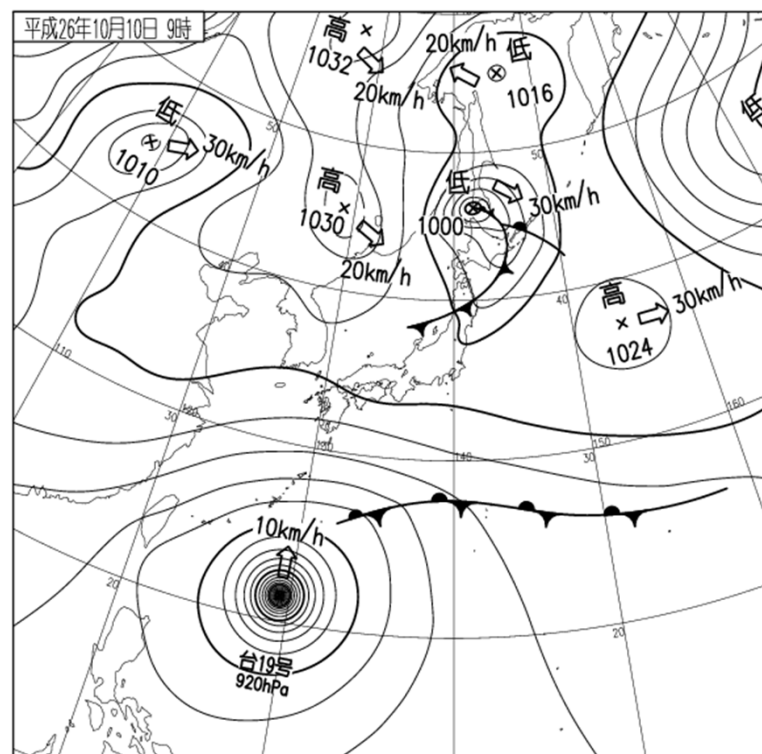
1 台風の現況及び今後の予測等

衛星画像と地上天気図

11日までは日本海北部の高気圧に覆われます。
12日には台風の北側にある雲に覆われ次第に雨となり、
13日から14日にかけて台風が接近し風雨が強まる見込みです。

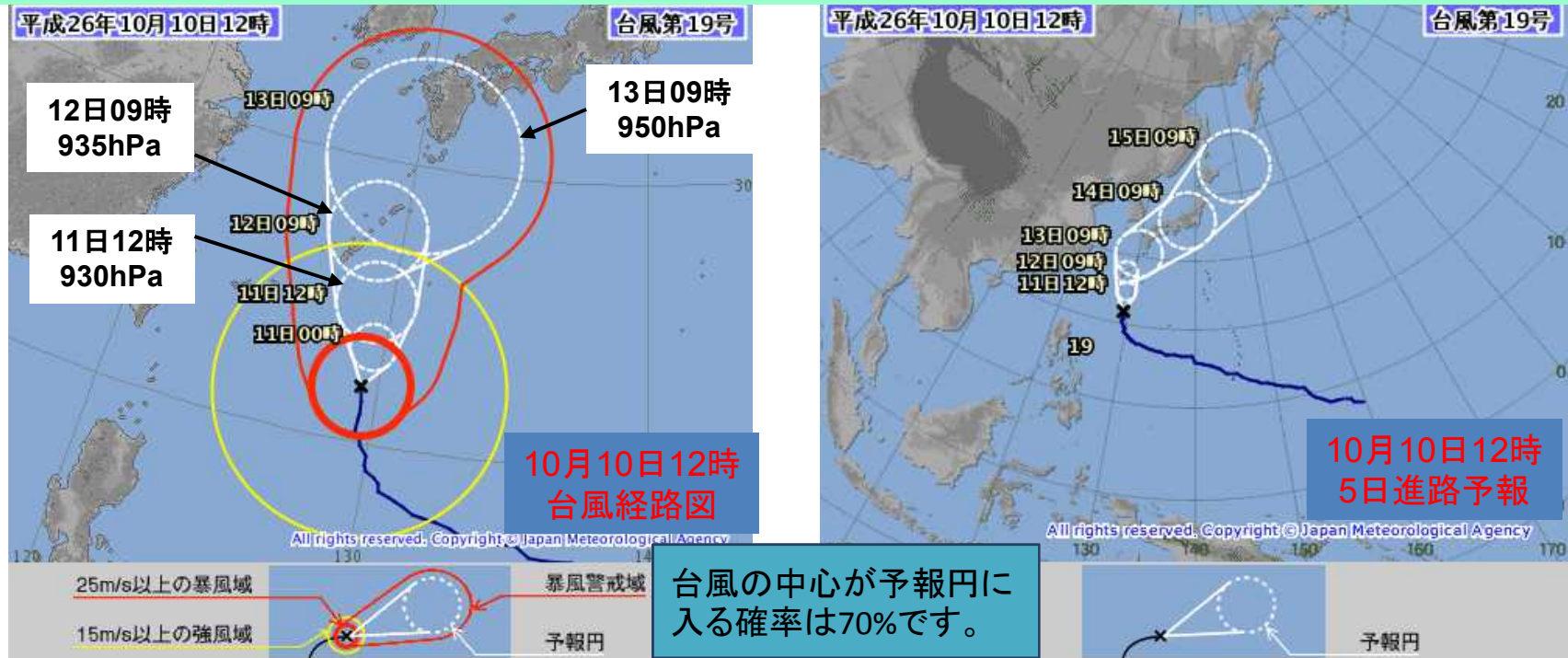


平成26年10月10日13時可視画像



10月10日9時速報地上天気図

台風予報図 (10月10日12時観測と予想)



平成26年10月10日12時45分 発表

<10日12時の実況>

大きさ 大型

強さ 非常に強い

存在地域 沖縄の南

中心位置 北緯 21度55分(21.9度)
東経 129度20分(129.3度)

進行方向、速さ 北 15km/h

中心気圧 920hPa

中心付近の最大風速 50m/s

最大瞬間風速 70m/s

25m/s以上の暴風域 全域 190km

15m/s以上の強風域 全域 560km

<13日09時の予報>

強さ 強い

存在地域 九州の南

予報円の中心 北緯 30度30分(30.5度)
東経 130度10分(130.2度)

進行方向、速さ 北北東 15km/h

中心気圧 950hPa

中心付近の最大風速 40m/s

最大瞬間風速 60m/s

予報円の半径 410km

暴風警戒域 全域 540km

直近の台風位置や暴風警戒域等は、
気象庁HPをご利用下さい

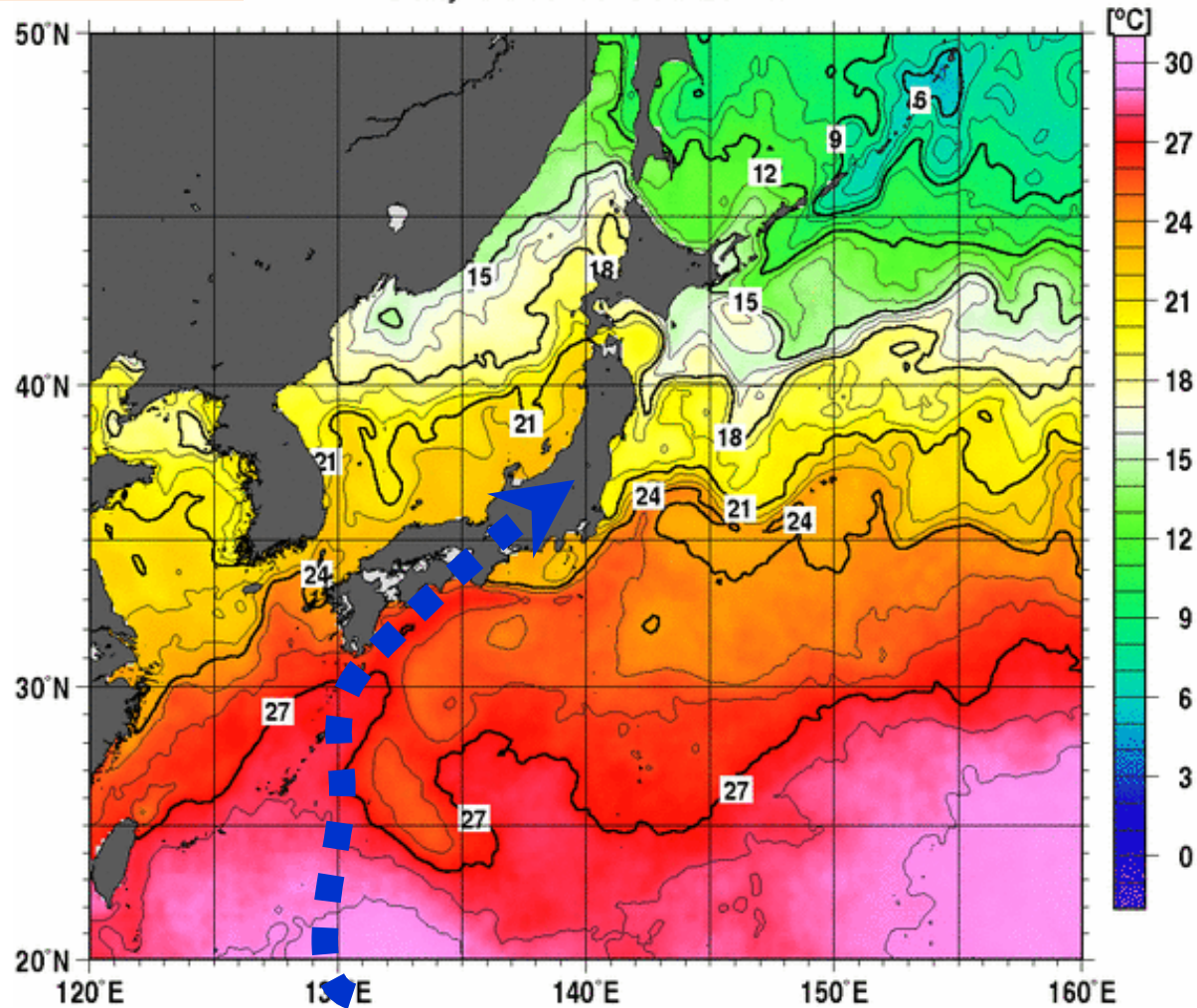
<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

(トップ画面 台風情報)

日本付近の海面水温

平成26年10月9日

Daily SSTs 09 Oct. 2014.



非常に強い台風第19号は、海面水温の高い海上を通過する見込みで、勢力が衰えにくい。

今回の台風第19号の鳥取県への影響(雨量風等の予想)

- 台風は非常に強い勢力で、沖縄の南海上を北へ進んでいます。九州の南海上で北東へ向きを変え、鳥取県に接近し風・波が強まり、大荒れの天気になるおそれがあります。
- 台風の接近に伴い、13日から14日にかけて激しい雨の降るおそれがあります。降水が長引くため、土砂災害、低地の浸水や河川の増水に注意が必要です。
- 鳥取県は13日午前**に強風域に入り、鳥取県に最も接近する13日午後から14日午前**にかけ暴風域に入る可能性があります。
- 予報円内の北よりを通った場合、非常に激しい雨が長時間降るため、土砂災害、河川の氾濫のおそれが高まります。
- 山地の北東斜面を中心に降水量が多くなる見込みです。台風通過後も、寒気流入により雨が残り、土砂災害への注意警戒期間が長くなります。
- 高潮は隠岐の北側を通過し日本海に入った場合、14日午後に可能性があります。

区分	境満潮時刻		田後満潮時刻	
13日	4:40	19:10	4:22	18:47
14日	5:11	—	5:01	—

台風に伴う防災事項

(10月10日12時の資料基に作成)

10月10日 12時現在の予想

鳥取地方気象台 作成

		10月11日							10月12日		10月13日		10月14日	
		3	6	9	12	15	18	21	午前	午後	午前	午後	午前	午後
		未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃						
気象的要因														
大雨	土砂災害													
	浸水害													
洪水														
強風(暴風)														
波浪														

<防災事項>

暴風、高波、土砂災害、低地の浸水、河川の氾濫

降水量が多くなる市町を中心に、土砂災害警戒情報の可能性があります。

気象台では、常に最新の資料と実況により適切な防災シナリオを検討しています。今後、最新の台風情報および、気象台が発表する最新の防災気象情報をご利用ください。



: 注意を要する時間帯



: 警戒を要する時間帯

最新の防災情報については、
鳥取地方気象台(0857-29-1311)へお問い合わせください。

2 市町村・県民への注意喚起

(1) 市町村への注意喚起

◆市町村における対応の徹底…必要に応じて再周知

台風第19号の接近を踏まえた対応

- 初動体制の速やかな確立

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

- 積極的な情報配信

防災行政無線、あんしんトリピーメール等の活用、報道機関への資料提供

- 迅速な避難体制の確立

避難勧告等発令基準や消防団等への連絡手段の確認等

- 災害時要援護者対策の強化

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導への配慮・確認等

- 被害規模の早期把握と迅速な報告

- 予防的対策の検討・実施

(2) 県民への注意喚起等

◆市町村は防災行政無線等を活用、県はホームページ等を活用して県民に注意喚起…必要に応じて再周知

- ・気象注・警報等TVやラジオ等から最新情報入手するよう心がけること
- ・家の周りを点検し、飛散する可能性のあるものを屋内にしまうか、固定すること
- ・最新の情報を入手するよう心がけ、状況が悪化した場合は不要不急な外出はひかえること
- ・非常持ち出し品の準備、避難場所等の確認
- ・避難準備情報が発出されたら要支援者等は避難行動を開始すること
- ・避難勧告・指示が発出されたら、あわてず速やかに避難し、身近に危険を感じたら早めに自主避難すること

* 災害の危険性が切迫した状態(特に夜間)での安全確保方法の周知

* 県HPのトップページに台風19号に関する情報掲載(台風情報、道路交通規制、
八ヶ岳周辺への影響 イベント等の延期・中止)

(2) 県民への注意喚起等

- ・なし・リンゴ・柿等の風害対策、ビニールハウス の補強等強風対策の徹底
- ・農地・ため池の見巡り等は安全が確認された後に実施し、人命最優先、2次被害防止徹底
- ・漁業関係者の安全確保、漁船・漁具、漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災措置の徹底
- ・中潮による県内湖沼の樋門操作の適切な対応
- ・工事看板、足場の固定
- ・建設資材等の保管(飛び散らない措置の確認)
- ・クレーン、杭打ち機等の転倒等の防止対策
- ・全国的に台風の影響が出るおそれがあるため、旅行等に出かける場合は気象情報や交通情報の入手に努めて適切な行動を
 - * 市町村教育委員会、各学校へ、通学時を含めた児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すことを伝達
 - * 観光客への適切な情報提供

3 警戒・即応体制の確保

(1) 県の体制

★現在の体制及び今後の体制強化について

◆警戒体制Ⅰ（現在の体制）

大雨注意報が発表された午前4時27分に、注意体制から警戒体制Ⅰに移行した。

（午前2時00分の注意体制（本県が強風域に入った））

◆災害警戒本部：警戒体制Ⅱ

暴風域が本県を通過することが本日夕方に見込まれており、大雨警報等が発表された場合等に災害警戒本部（警戒体制Ⅱ）を設置する。

◆災害対策本部：非常体制Ⅰ・Ⅱ（全職員）

被害甚大な場合、特別警報が発表された場合等に移行する。

* 非常体制Ⅰでも、事務局応援職員を招集する場合あり

◆その他

* 10月10日（金）、台風説明会後に災害情報システム（事案名設定）を立ち上げ、県庁内、市町村等と、情報共有を開始した。（定時報告は、警報等が発表以降、別途通知することを基本とするが、警報等が発表されていない場合でも被害確認等、必要に応じて報告を求めることがある。）

(2) 各部局等の対応

◆県民等への情報提供(危機管理局、関係部局等)

とりネット、あんしんトリピーメール、とりったー、公共情報commons等により台風関連の情報を適時的確に県民等へ情報提供

◆中国・四国各県の情報共有と必要な場合の迅速的確な支援

◆各部局等

- ①水防関連
- ②農林・水産関連
- ③教育関連(学校、若鳥丸)
- ④交通関連(公共交通機関、アジアナ、DBS)
- ⑤福祉施設関連(高齢者施設等)
- ⑥警察関連(警察の体制等)
- ⑦イベント・観光関連(共通) など

県土整備部の対応

1 工事現場の資材管理等の徹底

各県土整備事務所・局とも、工事現場での強風等による資材の飛散防止等を行うよう請負業者に指示・連絡し、対応を確認しているところ。

■工事現場での対応

- ・工事看板、足場の固定
- ・建設資材等の保管(飛び散らない措置の確認)
- ・現場内の土砂の流出の恐れなどがないか点検
- ・雨水により流出の恐れのある仮設物の撤去又は補強等の流出防止対策実施
- ・盛土、切土法面のシート養生等による崩壊防止対策実施
- ・クレーン、杭打ち機等の転倒等の防止対策実施
- ・ポンプ場、水門、樋門等の適切な操作の徹底
- ・その他労衛法上の安全点検等

	位置	月日	曜日	時間
満潮時間	境	10月13日	月	4:40
				19:10
	田後	10月14日	火	5:11 (夕方無し)

2 台風接近時の道路等パトロール体制

各所・局とも、台風接近に伴い状況変化(気象情報・県内での降雨状況等)に応じて管内をパトロールするよう、体制を整えている。また、水防体制については、同様に状況に応じた対応を行う。

3 (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応について確認

災害発生時には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会と事前に確認を行った。